

Ⅱ 社 会 体 育

1 社会体育の概要

国民のスポーツ活動に対する関心が高まり、地域社会におけるスポーツ活動が活発となり、いつでも、どこでも、いつまでも、それぞれの体力や年齢、技術、興味・関心・目的に応じて、手軽に楽しく、しかも継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりが強く求められている。

このようにスポーツ活動が盛んになってきた背景には、

- ① 国民の生活意識の変化と生活水準が向上したこと、
- ② 健康づくりブームの高まりにより、健康生活のために適度な運動習慣が必要であることが認識されはじめてきたこと、
- ③ 「地域づくり」の視点から、スポーツを通じて地域住民の連帯感を回復させようと、地域住民と社会体育関係機関・団体とが積極的にスポーツ活動を推進してきたことなど、さまざまな要因が考えられる。

今後、社会体育は、こうした現状と背景を十分把握した上で、総合型地域スポーツクラブの組織化の推進、施設の整備、指導者の養成と指導体制の強化、スポーツ活動や行事の内容の充実、体育・スポーツの調査研究機関の業務推進、スポーツに関する情報提供、社会体育関係団体の育成支援など、総合的な視野に立ったスポーツ振興のための環境整備を一層推進し、「地域の実情に応じたスポーツ振興」を図ることが重要な課題となっている。

2 社会体育指導体制

県民の多様化するスポーツニーズに応え、個人のスポーツ活動はもとより、広く地域住民の自主的スポーツ活動を積極的に促進し、生活の中に浸透させていくためには、行政組織の充実、各種スポーツ指導者の養成・活用等、指導体制の確立を図り、スポーツに親しむ県民を増やす取り組みが必要である。

(1) 派遣社会教育主事（スポーツ担当）

市町村の社会体育行政を充実するため、昭和50年度から国の補助を受けて県教育委員会事務局職員のうち、体育・スポーツを専門に担当する社会教育主事（スポーツ担当）を市町村教育委員会に派遣してきたが、平成10年度から国庫補助の廃止に伴い、市町村の状況や他県の状況を見極めながら、年次的に縮減の方向で検討し、平成22年度より廃止となった。

これまでの市町村教育委員会への配置状況は次のとおりである。

- 平成18年度（3市2町1村）南房総市、山武市、旭市、神崎町、鋸南町、印旛村
- 平成19年度（1市2町1村）南房総市、神崎町、鋸南町、印旛村
- 平成20年度（1町1村）本埜村、東庄町
- 平成21年度（1町1村）本埜村、東庄町

(2) 市町村社会体育主管課・係

地域住民の日常生活における体育・スポーツ活動を促進するためには、市町村の体育・スポーツ行政の機構と社会体育担当職員を整備充実することが重要な課題となっている。

平成20年11月1日現在、社会体育担当職員の専任配置は、48市町村あり、専任の割合は県内全担当職員の内、81.2%と初めて80%を越えている。

主管課設置数	市 町 村 教 育 委 員 会	
生涯学習課	17	流山市, 白井市, 酒々井町, 富里市, 栄町, 香取市, 多古町, 匝瑳市, 東金市, 大網白里市, 白子町, 長南町, 長生村, 大多喜町, いすみ市, 南房総市, 富津市
スポーツ振興課	7	市原市, 四街道市, 八街市, 印西市, 山武市, 鴨川市, 木更津市
生涯学習スポーツ課	1	銚子市
体育課	1	茂原市
スポーツ課	3	松戸市, 柏市, 館山市,
文化・スポーツ課	2	我孫子市, 鎌ヶ谷市
教育課	7	東庄町, 芝山町, 一宮町, 長柄町, 睦沢町, 御宿町, 鋸南町
生涯スポーツ課	3	習志野市, 船橋市, 成田市
社会体育課	1	野田市
体育振興課	3	旭市, 君津市, 袖ヶ浦市
その他	5	浦安市(市民スポーツ課), 神崎町(教育委員会), 横芝光町(社会文化課), 九十九里町(教育委員会事務局), 勝浦市(社会教育課)
市 教 育 委 員 会 以 外		
部局	4	千葉市(市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課) 八千代市(生涯学習部文化・スポーツ課), 市川市(文化スポーツ部スポーツ課) 佐倉市(健康子ども部生涯スポーツ課)
計	54	

(3) スポーツ推進委員(旧体育指導委員)

スポーツ基本法の施行(H23. 8. 24)に伴い体育指導委員がスポーツ推進委員と名称変更された。

＜スポーツ基本法＞

(スポーツ推進委員)

第三十二条 市町村の教育委員会(特定地方公共団体にあつては、その長)は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。

2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則(特定地方公共団体にあつては、地方公共団体の規則)の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。

3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。

平成 2 7 年度千葉県市町村別・地区別スポーツ推進委員数（H26.7.1日現在）

番号	市町村名	委員数	番号	市町村名	委員数	番号	市町村名	委員数
1	千葉市	532	20	富里市	15	39	長柄町	10
2	市原市	88	21	栄町	8	40	長南町	12
3	船橋市	200	22	白井市	26	41	睦沢町	15
4	市川市	92	23	香取市	54	42	長生村	13
5	習志野市	50	24	神崎町	12	43	勝浦市	12
6	八千代市	25	25	東庄町	18	44	大多喜町	8
7	浦安市	32	26	多古町	15	45	御宿町	8
8	松戸市	107	27	銚子市	24	46	いすみ市	20
9	柏市	62	28	旭市	30	47	館山市	21
10	野田市	45	29	匝瑳市	25	48	鴨川市	24
11	流山市	15	30	東金市	25	49	鋸南町	12
12	我孫子市	16	31	山武市	25	50	南房総市	48
13	鎌ヶ谷市	33	32	大網白里市	17	51	木更津市	30
14	佐倉市	30	33	九十九里町	15	52	君津市	30
15	成田市	38	34	横芝光町	15	53	富津市	28
16	四街道市	16	35	芝山町	15	54	袖ヶ浦市	20
17	八街市	19	36	茂原市	23			
18	印西市	29	37	一宮町	10			
19	酒々井町	13	38	白子町	15	計		2, 140

（４）社会体育指導者の養成・研修事業

ア 千葉県社会体育公認指導員等養成講習会

県民の多様化するスポーツ活動のニーズに応えるため、幼児から高齢者までの一般地域住民に指導のできる資質をもった指導者の養成・確保が重要である。このため、昭和55年度から社会体育指導者養成講習会を開催し、一般県民にスポーツの実技指導やスポーツクラブの育成を図れる指導者を養成してきた。

昭和57年度からは、この講習会の内容を一段と充実させ、「県社会体育公認指導員認定要綱」に基づいて指導者を養成し、平成24年度末までに1,454人の公認指導員を認定している。平成4年度から平成20年度までこの講習会を「千葉県スポーツプログラマー等養成講習会」とし、地域におけるスポーツ推進事業担当者や基幹的なスポーツ施設におけるスポーツ相談等の担当者及び地域スポーツ指導者を対象としてスポーツプログラマーを養成し、平成20年度末までに284人のプログラマーを養成した。

平成27年度は、「千葉県社会体育公認指導員等養成講習会」とし、「千葉県社会体育公認指導員養成講習会」と「千葉県スポーツリーダー養成講習会」を7月26日（日）から9月6日（日）までの6日間に渡って開催を予定している。

イ 社会体育指導者の研修

（ア）千葉県認定スポーツ指導者研修会

千葉県スポーツプログラマー、千葉県社会体育公認指導員、千葉県スポーツリーダーのそれぞれの認定要綱に基づいて養成した資格取得者を対象に各種情報の提供や社会体育指導者としての資質の向上を図ることを目的とし、地域のスポーツ活動ならびに地域コミュニティの活性化の原動力となって活躍できる指導者の育成を図るために実施した。

また、認定及び認定更新の申請手続きを終了し、認定・認定更新が認められた資格者に対して認定証の授与を行う。

今年度の開催は、千葉県総合スポーツセンター内スポーツ科学センターで2月21日（日）

を予定している。

(イ) 千葉県地域スポーツ指導者研修会

平成21年度より、千葉県公認指導員及び、スポーツ推進委員・その他地域のスポーツ指導者・市町村社会体育担当者に対して、各種の情報を提供しスポーツ指導者としての資質の向上を図るため、千葉県地域スポーツ指導者講習会を実施した。

今年度は、南房総教育事務所管内を対象に君津市民体育館で1月30日（土）を予定している。

ウ 関東スポーツ推進委員研究大会

関東各都県スポーツ推進委員が一堂に集まり、当面する生涯スポーツの諸問題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質の向上と相互の情報交換を図り、地域スポーツの発展に寄与することを目的に、各都県持ち回りで実施している。例年は、県スポーツ推進委員研究大会を各地区持ち回りで実施している。

平成27年度の事業概要は次のとおりである。

○期 日 平成27年6月5日（金）～6日（土）

○場 所 第1日目 千葉県総合スポーツセンター体育館

第2日目 幕張メッセ国際会議場

千葉県総合スポーツセンター体育館

○対 象 関東各都県スポーツ推進委員、生涯スポーツ担当者、その他スポーツ関係者

○内 容 基調講演、分科会（研究協議）、アトラクション

エ 県スポーツ推進委員研究大会

千葉県下のスポーツ推進委員が一堂に会し、当面する生涯スポーツの諸問題について、研究討議し、スポーツ推進委員の資質向上と地域における体育・スポーツ・レクリエーションの振興に寄与する事を目的に、各地区持ち回りで実施している。

平成27年度の事業概要は次のとおりである。

○期 日 平成27年12月6日（日）

○場 所 茂原市 茂原市民体育館

○対 象 県内各市町村スポーツ推進委員

○内 容 表彰式、講演、研究協議

オ 体力・運動能力調査講習会

文部科学省の体力・運動能力調査における新体力テスト調査（20歳～64歳対象、65歳～79歳対象）の安全な実施方法や活用の仕方について研修する。

平成27年度の事業概要は次のとおりである。

○期 日 平成27年5月17日（日）

○場 所 千葉県総合スポーツセンター（スポーツ科学センター 研修室・アリーナ）

○対 象 各教育事務所指導主事（保健体育担当）、市町村教育委員会社会体育担当者
各市町村測定員

○内 容 講義「新体力テストの実施方法及び活用について」

カ スポーツ推進委員視察派遣

スポーツ推進委員連合会（旧千葉県体育指導委員連合会）では、社会体育の活動状況と体育施設等の現状を調査し、今後の本県における社会体育の推進に寄与することを目的として、昭和55年度からスポーツ推進委員等の視察派遣事業を実施している。

県では、この事業に対しての助成を平成11年度まで行ってきた。平成12年度からは、千葉県体育指導委員連合会事業（現スポーツ推進委員連合会事業）として行っている。

なお、これまでの視察先と派遣人数は次のとおりである。

年度	視 察 先	県スポ推進派遣人数
15	北海道札幌市（生涯スポーツコンベンション2004）	5
16	富山県富山市（生涯スポーツコンベンション2005）	3
17	熊本県熊本市（生涯スポーツコンベンション2006）	1
18	福島県郡山市（生涯スポーツコンベンション2007）	2
19	広島県広島市（生涯スポーツコンベンション2008）	2
20	東京都新宿区（生涯スポーツコンベンション2009）	4
21	埼玉県さいたま市（生涯スポーツ全国会議2010）	7
22	神奈川県横浜市（生涯スポーツ・体力づくり全国会議2011）	5
23	秋田県秋田市（生涯スポーツ・体力づくり全国会議2012）	4
24	宮崎県宮崎市（生涯スポーツ・体力づくり全国会議2013）	3
25	山口県山口市（生涯スポーツ・体力づくり全国会議2014）	4
26	岩手県盛岡市（生涯スポーツ・体力づくり全国会議2015）	6
27	愛媛県松山市	

キ 市町村社会体育担当者研修会

市町村の社会体育担当職員等が、社会体育の振興に関する諸問題について研修を深めるとともに、担当者の資質の向上を図る目的で市町村社会体育担当者研修会を開催してきた。

○期 日 平成27年5月22日（金）

○会 場 千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター3階第1研修室

○対 象 市町村教育委員会社会体育担当者
各教育事務所指導主事（保健体育担当）

○人 数 64名

○内 容 挨拶 千葉県教育庁教育振興部体育課 主席指導主事兼班長 牧田 正彦
事業説明「平成27年度の体育課事業等について」

- ・ちばアクアラインマラソン2016の開催について
- ・学校体育班事務の概要について
- ・競技力向上班関係事業について
- ・学校施設環境改善交付金について

- ・社会体育関係事業について
- ・千葉県スポーツ振興基金について（公財）千葉県教育振興財団
- ・スポーツ推進委員連合会について

説明・千葉県体育・スポーツ推進計画について

- ・トッププロスポーツ活用連携事業について
- ・スポーツ推進月間の取組について

事例発表・グループ協議

- ・東金市、銚子市の事例発表及びグループ討議等

（５）千葉県広域スポーツセンター事業

生涯スポーツ活動の環境整備に向けて、地域住民の誰もが参加でき、地域住民が自主的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」を育成するため、教育庁体育課スポーツ振興室に「千葉県広域スポーツセンター」を設置し、千葉県体育協会と連携しながら、クラブ設立・育成・定着に向けた各種事業を展開している。

平成２７年度の事業概要は次のとおりである。

ア．総合型地域スポーツクラブの育成・定着の支援

- ・広域ブロック別研修会 ・育成支援講師等の派遣 ・訪問事業 ・ミニ集会の開催
- ・情報交換会（クラブサミット）の開催
{今年度クラブサミットは関東ブロックネットワークアクションをこれに充てる}
- ・スポネットちば（交流大会）の開催

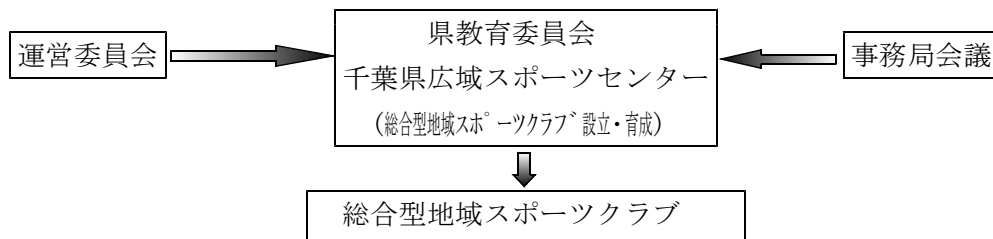
イ．スポーツ指導者の養成・活用

- ・クラブマネジャー養成講習会
- ・スポーツ指導者の活用・紹介

ウ．スポーツ情報提供

- ・ホームページによる情報提供 ・継続的な実態調査の実施
- ・各種広報活動（のぼり作成、リーフレット配布等）

運営組織図



（６）県スポーツ推進審議会

県スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法第３１条並びに県スポーツ推進審議会条例第１条の規定に基づいて設置し、県体育・スポーツ推進計画を策定するとともに、その進捗状況や本県のスポーツの推進に関する重要事項等について調査審議を行うものです。

本審議会において、平成24年度から28年度にわたる５年間を見据えた体育・スポーツの方向性を示す「県体育・スポーツ推進計画」策定に向けて審議し、県教育委員会が平成24年３月に第11次「県体育・スポーツ推進計画」を策定しました。

今年度は、本計画に基づいて体育・スポーツを推進し、審議会を次のとおり開催する予定である。

<平成27年度>

開催年月日	内 容
平成27年7月7日	1 平成27年度体育課当初予算の概要 2 「千葉県体育・スポーツ推進計画」の推進事業について 3 その他

(7) 市町村スポーツ推進審議会

スポーツ基本法では、市町村に地方スポーツ計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関を置くことができるとされているが、スポーツ推進審議会を設置している市町村は、平成25年5月31日現在、29市町となっている。

市町村におけるスポーツ推進事業を積極的に推進するためにも未設置市町村の設置促進を期待するとともに、スポーツ推進審議会が十分機能できる諮問事項の検討などが求められる。

○市町村におけるスポーツ振興審議会の
設置状況

設置されている	29市町
設置されていない	25市町村

○市町村スポーツ振興審議会委員
の数と男女比

総 数	303人
男 性	232人 (76.6%)
女 性	71人 (23.4%)

3 スポーツ活動

(1) 県社会体育行事

「県民の健康で活力ある暮らし」と「地域の実情に応じたスポーツ振興」、「スポーツに親しむ県民を増やす」という体育・スポーツ振興の目的の実現を目指して、地域住民の日常スポーツ活動を促進するため、次のような事業を実施している。

ア 県民体育大会（本文59ページ参照）

イ 県民スポーツ教室（本文80ページ参照）

ウ 体力・運動能力調査事業

文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を把握するため、昭和39年度から勤労青少年を対象に、また、昭和42年度からは壮年層を対象に加えた運動能力調査を実施してきた。

本県でも、昭和39年度からスポーツテストを実施しており、昭和61年度からはスポーツテストの実施のみでなく、広く一般県民の健康・体力づくり意識を高揚する目的で、健康・体力相談・運動処方等についての内容を加え、県内11地区を巡回する「巡回健康・体力相談」事業を実施してきた。平成3年度からは、事業を「勤労青少年・壮年体力テスト事業」に変更し、県内各地域の勤労青少年・壮年の運動能力を調査することにより、県民の健康・体力づくりの充実を図ることとした。平成10年度は、文部科学省の体力・運動能力調査の見直しに伴い、新体力テストの試行を実施した。

平成27年度の新体力テスト項目（20歳～64歳対象：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、＜急歩・20mシャトルランどちらか選択＞、立ち幅とび）（65歳～79歳対象：握力、上体起こし、長座体前屈、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行、ADL）による体力・運動能力調査実施市町村は、次の8市町村である。

八千代市、松戸市、栄町、神崎町、御宿町、長柄町、館山市、市原市

(2) 市町村社会体育行事

社会体育行事は、競技型、学習型の事業が多いが、テスト型の体力調査会が前回調査時よりも

3倍以上の開催となり、体力に対する関心の高さが数字に表れたといえる。

社会体育・スポーツ振興は、スポーツ人口の拡大と活動の日常化を目標としているため、参加者にスポーツをする楽しさを味わわせながら健康や体力についての意識を高め、スポーツの日常化を目指していくものでなければならない。

市町村における社会体育行事の実施状況は次のとおりである。

社会体育行事の実施割合

24.11.1調査

行事種類		回 数	実施市町村数	割合
競技型	総合体育大会	37	24	44%
	種目別競技会	380	39	72%
	そ の 他	8	6	11%
学習型	スポーツ教室	744	42	78%
	実技講習会	156	9	17%
	そ の 他	10	6	11%
テスト型	体力調査会	18	13	24%
	体力相談会	3	3	6%
	そ の 他	0	0	0%
レクリエーション型	運 動 会	105	21	39%
	スポレク祭	82	30	56%
	ニュースポーツ大会	163	18	33%
	ウォーキング	108	21	39%
	ジョギング	26	3	6%
	野外活動	24	9	17%
	そ の 他	114	13	24%

(3) 全国スポーツ・レクリエーション祭は平成24年度より廃止されました。

4 社会体育施設

(1) 県総合スポーツセンター・県国際総合水泳場（後掲）

(2) 市町村社会体育施設

地域住民の日常的なスポーツ活動を促進するためには、まず、身近に利用できる施設の確保が重要であり、社会体育施設の計画的整備・充実と住民に最も身近な学校体育施設の効果的開放の促進が望まれる。市町村においては、社会体育施設の建設を計画的に進めているところも増え、遊休地等を利用した社会体育施設を設置するなど工夫している面も見られるが、十分とは言えない状況である。

そのため、県では国の体育施設整備に対する交付金を積極的に導入し、市町村社会体育施設の整備促進に努めることとしている。

なお、市町村における公共社会体育施設の設置状況は、次のとおりである。

市町村における公共社会体育施設の設置状況（ ）内の数字は面数を表す。 26.6.6現在

区 分	市町村社会体育施設数		県立施設数		25年度県立 市町村合計
	23年度	25年度	23年度	25年度	
陸上競技場	22	21	5	5	26
野球場（ソフトを含む）	194 (228)	189 (236)	11 (13)	12 (14)	201 (250)
球技場（サッカー場）	46	45	3	3	48
運動広場	212	208	4	7	215
屋内水泳場	28 (66)	28 (72)	2 (6)	2 (6)	30 (78)
屋外水泳場	61 (160)	53 (148)	2 (12)	3 (17)	56 (165)
庭 球 場	226 (810)	221 (897)	12 (102)	14 (101)	235 (998)
卓 球 場	12	12	0	0	12
柔 道 場	22	23	0	0	23
剣 道 場	19	20	0	0	20
柔剣道 場	34	34	1	1	35
相 撲 場	12	12	0	0	12
弓 道 場	35	36	3	3	39
体 育 館	186	175	5	5	180
トレーニング場	54	52	3	3	55
ランニングコース	15	14	0	0	14
サイクリングコース	7	5	1	1	6
キャンプ場	22	21	5	6	27
ハイキングコース	5	1	7	7	8
オリエンテーリングコース	1	1	1	1	2
射 撃 場	1	1	2	2	3
その他	162	156	10	10	166
計	1,376	1,328	77	85	1,413

5 学校体育施設の開放

地域住民のスポーツ活動の場を確保するため県立学校の体育施設を開放している。

（１）県立学校体育施設の開放

昭和47年度から県立学校の開放を進めており、平成27年度現在59校を指定開放している。

また、体育施設の開放を推進し、生涯スポーツ社会の更なる発展のため、県立学校体育施設開放実施要綱の一部改正をした（平成24年4月1日）。

なお、昭和59年度から安全な運営・管理を目指し「県立学校体育施設開放説明会」（平成13年度までは「県立学校体育施設開放管理者講習会」）を年1回開催している。

①県立学校体育施設開放説明会

体育施設開放運営委員及び管理指導員の参加を求め、学校体育施設開放についての理解や諸問題について研修を深め、管理者の資質の向上を図り、県立学校体育施設の安全な運営・管理を目指すことを目的としている。平成27年度の事業概要は、次のとおりである。

- （ア）期 日 平成28年1月15日（金）（次年度説明会）
- （イ）会 場 千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター
- （ウ）参加対象 県立学校体育施設開放運営委員及び管理指導員
市町村立学校体育施設開放事業担当者及び県立学校職員
- （エ）参加人員 45 人（平成27年度事業説明会）
- （オ）事業概要 ・説明「県立学校体育施設開放の概要と事務手続き等について」

②県立学校施設開放校実施校一覧及び開放状況

平成27年度開放校一覧

平成27年度 県立学校体育施設開放指定校一覧

市町村名	NO	学校名	開始年度	市町村名	NO	学校名	開始年度
市原市	1	市原八幡高校	平成23	四街道市	31	四街道高校	昭和62
	2	鶴舞桜が丘高校	平成26	八街市	32	八街高校	昭和55
	3	市原高校	新規	白井市	33	白井高校	平成7
八千代市	4	八千代高校	昭和49	佐倉市	34	佐倉高校	昭和50
船橋市	5	船橋二和高校	昭和56		35	佐倉南高校	平成6
	6	船橋東高校	昭和60		36	佐倉西高校	平成15
	7	船橋古和釜高校	昭和61	香取市	37	佐原高校	平成4
	8	船橋高校	昭和63	銚子市	38	銚子商業高校	昭和60
	9	船橋北高校	平成6		39	銚子高校	平成5
	10	船橋豊富高校	昭和47	匝瑳市	40	匝瑳高校	平成25
市川市	11	市川工業高校	昭和48	山武市	41	成東高校	昭和60
	12	特別支援学校 市川大野高等学園	平成24	茂原市	42	茂原高校	平成23
浦安市	13	浦安高校	昭和57	一宮町	43	一宮商業高校	昭和61
松戸市	14	松戸国際高校	昭和57	館山市	44	館山総合高校	昭和47
	15	松戸南高校	平成22	鴨川市	45	長狭高校	昭和56
	16	松戸向陽高校	平成23	君津市	46	君津青葉高校	平成元
	17	松戸特別支援学校	平成26		47	上総高校	平成4
	18	つくし特別支援学校	新規	富津市	48	君津商業高校	昭和58
	19	矢切特別支援学校	新規	袖ヶ浦市	49	袖ヶ浦高校	昭和59
柏市	20	柏南高校	昭和57		50	槇の実特別支援学校	平成2
	21	柏の葉高校	昭和63	千葉市	51	千葉女子高校	昭和57
	22	沼南高柳高校	平成3		52	千葉東高校	昭和59
	23	東葛飾高校	新規		53	千葉北高校	昭和62
流山市	24	流山おおたかの森高校	昭和58		54	千葉西高校	昭和63
	25	流山北高校	昭和62		55	桜が丘特別支援学校	昭和63
	26	流山南高校	平成3		56	生浜高校	平成24
	27	特別支援学校 流山高等学園	平成11		57	磯辺高校	平成24
鎌ヶ谷市	28	鎌ヶ谷高校	昭和53		58	幕張総合高校	平成26
	29	鎌ヶ谷西高校	平成9		59	土気高校	新規
野田市	30	関宿高校	新規				

③平成26年度県立学校体育施設開放実績（県指定校）

- (ア) 指定開放校数 60校
- (イ) 開放時数 22, 163時間
- (ウ) 利用団体数(延) 10, 157団体
- (エ) 利用者数(延) 202, 435人

(オ) 開放施設

施設名	開放校数	開放時間数
体育館	29	6, 103
運動場	27	8, 001
弓道場	4	1, 547
庭球場	8	1, 851
武道場	10	1, 324
プール	2	538
アーチェリー場	1	383
その他	14	2, 416
計		22, 163

(カ) 開放日及び開放時間

曜日		計
平日	時数	7, 264
	学校数	34
土日曜・休日	時数	14, 899
	学校数	56
合計	時数	22, 163

(キ) 種目別開放時数

No.	種目	時数	No.	種目	時数
1	バレーボール	1, 235	14	ラグビー	336
2	バスケットボール	1, 991	15	弓道	1, 547
3	バドミントン	759	16	テニス	1, 851
4	体操	536	17	柔道	206
5	卓球	874	18	空手道	437
6	レスリング	70	19	剣道	794
7	なぎなた	58	20	少林寺拳法	266
8	キンボール	266	21	水泳	477
9	フロアホッケー	39	22	アーチェリー	383
10	野球	2, 091	23	新体操	688
11	サッカー	4, 016	24	フットサル	206
12	ソフトボール	1, 988	25	その他	1, 192
13	グラウンド・ゴルフ	162		合計	22, 163

(2) 市町村立学校体育施設の開放

小・中学校における体育施設の開放は全ての市町村において実施している。地域スポーツの活動拠点としてその果たす役割は大きい。

なお、平成24年度市町村立学校体育施設開放状況は次のとおりである。

平成24年度市町村立学校体育施設開放状況

学 校 数	小学校 (837) 中	学校 (383) 計	(1, 220)
屋外運動場 開放校	783 93.5%	275 71.8%	1, 058 86.7%
屋内運動場 開放校	816 97.5%	377 98.4%	1, 193 97.8%
プール 開放校	220 26.3%	34 8.9%	254 20.8%

※施設別開放校の％は、保有校を母数とする。

市町村立学校体育施設の開放体制

	平成16年度	平成18年度	平成20年度	平成22年度	平成24年度
開放している市町村数	79	56	56	54	54
条例・規則・要綱等あり	73 (92.4%)	55 (98.2%)	55 (98.2%)	53 (98.1%)	51 (94.4%)
開放のための組織あり	34 (43.0%)	22 (39.3%)	22 (39.3%)	21 (38.8%)	24 (44.4%)
予算措置あり	25 (31.6%)	16 (28.6%)	15 (26.8%)	14 (24.9%)	11 (20.4%)
利用料金の徴収あり	13 (16.5%)	8 (14.3%)	9 (16.1%)	14 (24.9%)	14 (25.9%)

市町村立学校体育施設開放事業（管理指導員謝金）補助一覧

年度	市町村数			学校数			補助交付金		
	県	国	計	県	国	計	県（千円）	国（千円）	計（千円）
9	15	2	17	174	56	230	3,600	3,110	6,710
10	6		6	76		76	1,188		1,188
11	6		6	43		43	981		981
12	5		5	30		30	721		721
13	3		3	16		16	900		900

※国は昭和51年度から平成9年度まで、県は昭和52年度から補助事業を実施。

※補助事業は平成14年度から廃止。

6 地域スポーツ推進情報提供

県民のスポーツに対する意識を啓発し関心を高めるために、いつでも、どこでも、だれでも手軽にできるスポーツを普及させ、家庭を基礎とした身体活動の自発的実践を呼びかけることを目的に、次のような各種スポーツ情報提供事業を実施している。

（１）ファミリースポーツの啓発と普及

平成7年度まで「知っておきたい健康ファミリー」のリーフレットを作成し、各市町村教育委員会、関係団体等に配布を行った。内容については以下のとおりであった。

- ・中高年齢者のセルフチェック
- ・中高年齢者の運動プログラム
- ・中高年齢者の健康管理
- ・健康づくりのための運動指針
- ・サーキットトレーニング
- ・ターゲットバードゴルフ
- ・フォアマンソフトテニス
- ・エクササイズウォーキング
- ・ウォーターエクササイズ
- ・ウォーミングアップ&クーリングダウン
- ・スポーツ傷害
- ・健康体力づくり
- ・健康チェック
- ・スポーツと栄養
- ・楽しい登山
- ・野外活動
- ・リズムなわとび
- ・ファミリーキャンプ
- ・ストレッチ体操
- ・サイクリング
- ・腰痛体操
- ・筋力トレーニング
- ・バイオコロビクス
- ・バウンドテニス
- ・ユニバーサルホッケー
- ・チェックボール
- ・インディアカ
- ・フレッシュ体操
- ・スポーツマッサージ
- ・ディスクゴルフ
- ・シニア体操
- ・綱引き
- ・健康ウォーキング
- ・手軽にできる体力テスト
- ・ハイキング
- ・ハイキング
- ・けん玉
- ・ラージボール卓球
- ・ソフトバレーボール
- ・チャレンジ・ザ・ゲーム
- ・シャッフルボード
- ・ゲートゴルフ
- ・タスポニー
- ・ペタンク
- ・ネイチャーゲーム
- ・ウォークラリー
- ・ダーツ
- ・カヌー
- ・ウィンドサーフィン
- ・ゲートボール
- ・ドッジボール
- ・ユニカール
- ・マウンテンバイク
- ・シュノーケリング
- ・カバディー
- ・ラクロス
- ・シャトルボール
- ・ヒューストン
- ・ティーボール
- ・スポーツチャンバラ
- ・クロリティー
- ・ピックボール
- ・ペロック
- ・カンガ
- ・クリケット
- ・カントリーボール
- 等

(2) 指導者への啓発

ア スポーツ指導者指導資料第1集～第18集を平成6年度まで作成した。

内容としては、「ニュースポーツハンドブック」「知っておきたい基礎知識・社会体育の企画と運営」「スポーツ活動の事故予防」「スポーツと事故予防・応急処置」「健康づくりの運動プログラム」「健康と体力づくり」「生涯体育と軽スポーツ」「スポーツ行事の企画と運営」等である。

イ 「千葉県公立社会体育施設調査」は、平成19年度より隔年で作成している。

(3) 映画・VTR制作

平成10年度まで地域スポーツ活動の状況や健康・体力づくり及びニュースポーツ紹介に関する映画VTR制作を行い、各教育事務所及び各市町村教育委員会に配布し、県民への貸出を行い、地域の体育スポーツ活動の促進を図ってきた。

内容としては「ニュースポーツ紹介シリーズⅠ～Ⅴ」(ディスクゴルフ、インディアカ、ペタンク、チャレンジ・ザ・ゲーム、ダーツ、グランド・ゴルフ、ラージボール卓球、ウォークラリー、ターゲットバードゴルフ、ローンボウルズ)、「高齢者の健康とスポーツ」「ふれあい・さわやか全国スポレク祭」「女性とスポーツ」等である。

(4) 千葉県スポーツリーダーバンク

文部科学省では、国民のスポーツへの関心の高まりの中で、スポーツの一層の振興とその質的向上を図るために、スポーツリーダーバンク事業の奨励に努めている。

本県においても、平成元年度からこの事業を開始し、指導者の登録、登録指導者名簿の作成及び指導者の紹介、指導者向けの広報誌(ニューズレター)の刊行を行っている。

26年度末は、351名の登録があった。

22年度よりリーダーバンク新規登録者及び登録指導者名簿の作成を休止した。リーダーバンク削除願を66名受理した(平成27年5月31日現在)。

また、ニューズレターについては年1回「生涯スポーツ振興」のホームページ上に掲載している。

スポーツリーダーバンク登録状況(居住市町村別登録指導者数)

27.5.31現在

No.	市町村名	居住者数	No.	市町村名	居住者数	No.	市町村名	居住者数
1	千葉市	52	20	栄町	0	39	長柄町	1
2	市原市	21	21	印西市	3	40	長南町	0
3	習志野市	8	22	白井市	1	41	睦沢町	0
4	八千代市	12	23	香取市	2	42	長生村	1
5	船橋市	44	24	神崎町	0	43	勝浦市	0
6	市川市	16	25	東庄町	0	44	大多喜町	1
7	浦安市	0	26	多古町	0	45	いすみ市	5
8	松戸市	22	27	銚子市	2	46	御宿町	5
9	柏市	22	28	旭市	3	47	館山市	0
10	野田市	5	29	匝瑳市	3	48	鴨川市	3
11	流山市	15	30	東金市	6	49	鋸南町	0
12	我孫子市	10	31	大網白里市	3	50	南房総市	4
13	鎌ヶ谷市	3	32	九十九里町	0	51	木更津市	2
14	佐倉市	9	33	山武市	4	52	君津市	3
15	成田市	6	34	横芝光町	0	53	富津市	4
16	四街道市	12	35	芝山町	0	54	袖ヶ浦市	10
17	八街市	1	36	茂原市	8	55	県外	5
18	酒々井町	1	37	一宮町	0			
19	富里市	0	38	白子町	13			
						合計		351

スポーツリーダーバンク種目一覧・登録指導者数

種 目	指導者数	種 目	指導者数	種 目	指導者数	種 目	指導者数
あ		こ		て		み	
アーチェリー	2	硬式野球	8	テニス	26	ミニバスケットボール	0
合気道	12	ゴルフ	0	ディスクゴルフ	4	民踊(スポーツ民踊)	3
アイスホッケー	1	さ		ティーボール	2	も	
アメリカンフットボール	0	サーフィン	0	と		モトクロス	0
歩け歩け(ウォーキング)	15	サイクリング	2	トランポリン	0	モーターボート	0
アトラクション	0	サッカー	2	トッシーボール	4	ゆ	
アクアビクス	2	山岳	2	トライアスロン	0	ユニホッケー	3
い		3B体操	33	トリムバレーボール	0	ユースホステル	3
インドアカ	9	サロフットボール	1	な		ユニカール	0
一輪車	1	し		なぎなた	16	よ	
居合道	2	自転車	0	なわとび	0	ヨーガ	6
インラインスケート	1	社交ダンス	10	軟式野球	16	ヨット	0
う		ジャズ体操	1	なのはな体操	5	幼児体育	4
ウインドサーフィン	0	ジャズダンス	3	に		余暇相談	1
ウエイトレニング	1	銃剣道	1	日本泳法	0	ら	
ウエイトリフティング	3	柔道	6	ね		ライフル射撃	0
ウォークラリー	2	ジョギング	9	ネイチャーゲーム	2	ラグビー	2
腕相撲	0	シンクロスイドスイミング	0	は		ラジオ体操	4
え		ゲ		ハイキング	2	テニス卓球	2
エアロビクスダンス	13	新体操	0	バウンドテニス	10	ラクロス	0
エスキーツ	0	自然運動	1	バスケットボール	6	ラテンエアロビクス	0
エアロフィット	0	ジャズボート	1	馬術	1	り	
お		ジャズボール	0	バトミントン	8	陸上	5
オリエンテーリング	2	自彊術	0	バトントワラー	0	理論	1
親子ダンス	2	少林寺拳法	3	バレーボール	10	リンクテニス	0
オートキャンプ	0	ショートテニス	3	バントボール	5	リズム体操	3
親子体操	18	す		バトールテニス	2	れ	
か		水泳	11	パラセール	0	レスリング	0
カヌー	1	水上スキー	0	ハングライダー	0	レクリエーション	20
空手	9	スカイダイビング	0	ハントヘースボール	0	練功	5
カーリング	0	スキー	9	バンブーダンス	0	ろ	
カッター	0	スクーバダイビング	0	パンポン	0	ローラースケート	0
カバディ	0	スクウェアダンス	0	パークゴルフ	5	ロッククライミング	0
カヌーボロ	1	スケート	1	パラグライダー	0	わ	
カヤック	1	ストレッチング	10	バトポン	0	輪なげ	0
カローリング	2	相撲	0	ひ		ワンバウンドバレーボ	0
き		水球	0	ビリヤード	0	ール	
キャンプ	9	水中ダンス	2	ビーチバレーボール	0	その他	
弓道	5	スキューバダイビング	0	ビームライフル	0	スポーツドクター	2
器械体操	2	スカッシュ	0	ふ		スポーツプログラマー	52
競歩	1	スポーツチャンバラ	1	フィギュアスケート	0	少年スポーツ指導	0
気功	7	水中ウォーキング	4	フィールドアスレチック	0	者(上級)	
キックベースボール	0	スポーツ吹き矢	1	フェンシング	1	レクリエーションコーディネーター	4
キャスティング	0	そ		フォークダンス	2	健康運動指導士	2
キッズエアロビクス	0	漕艇	0	フィットネス	1	健康運動実践指導者	0
キッドビクス	0	ソフトボール	7	フィンスイミング	0		
キンボール	0	ソフトテニス	8	ブーメラン	0		
く		ソフトバレーボール	11	へ		トレーニング指導士	1
グライダー	0	た		ペタンク	7	日赤水上安全法	0
クラシックバレエ	1	太極拳	5	ペロタ(ハイライ)	0	指導員	
クレ射撃	2	高飛込	0	ヘルスバレーボール	2	日赤水上安全法	0
クロスカントリー	0	卓球	7	ほ		救助員	
グラウンドゴルフ	18	ダーツ	4	ボートボール	0	県社会体育公認	124
クローカー	0	タッチラグビー	0	ボウリング	4	指導員	
クリケット	0	ターゲットバードゴルフ	3	ボクシング	0	アスレチックトレーナー	0
グレースボール	0	フ		ボクサー	0	ヘルスケアトレーナー	1
け		ダンベル体操	2	ボクシング	0	ヘルスケアリーダー	0
健康体操	63	タグラグビー	0	ボクシング	0	水泳指導管理士	0
ゲートボール	12	短剣道	0	ボクチャー	0	余暇生活開発士	4
剣道	12	ち		ボディー・トーク	0	余暇生活相談員	1
拳法	1	チェックボール	0	ま		福祉レクリカー	3
ゲートゴルフ	0	チャレンジサゲーム	2	マラソン	4	グループレクリカー	0
けん玉	0	つ		真向法	0	体力テスト判定員	5
		釣り	0	マレットゴルフ	0	体力テスト指導員	0
		綱引き	6			クラブコーディネーター	6
		杖道	1				
214種目・分野854							

7 社会体育の表彰

(1) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体

文部科学省は、地域又は職場におけるスポーツの健全な普及・発展に貢献し、地方体育の振興に顕著な成果をあげた体育関係者及び生涯スポーツ優良団体（スポーツクラブ・スポーツクラブ以外の団体）について、文部科学大臣表彰を行っている。

県では、県知事及び県体育協会長、県教育委員会の表彰を受けた者の中から、国の審査及び推薦の基準に従って候補者を推薦している。平成25年度に文部科学大臣表彰を受けた生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体は、次のとおりである。

年度	生涯スポーツ功労者	推薦母体（市町村）	生涯スポーツ優良団体	推薦母体（市町村）
26	中臺由紀夫	県体協	船橋市サッカー協会	葛南（船橋市）
	松野 昌司	葛南（船橋市）	NPO法人習志野イースタンズスポーツクラブ	葛南（習志野市）
	杓掛 忠夫	東葛飾（柏市）	鎌ヶ谷市野球協会	東葛飾（鎌ヶ谷市）
	常澄 忠男	南房総（市原市）	NPO法人ニッポンランナーズ	北総（佐倉市）
	渡辺志げ子	千葉市	館山剣道連盟	南房総（館山市）

(2) 県民栄誉賞

昭和63年度から、スポーツ芸術等の分野で特に功績が顕著であったと認められる個人又は団体に県民栄誉賞表彰を行っている。スポーツ分野での受賞者は、次のとおりである。

年 度	氏 名（所 属）	功 績
昭 6 3	鈴木 大地（順天堂大学4年）	第24回ソウルオリンピック水泳競技100m背泳 金メダル
平 8	荒井のり子	1996年パラリンピック競技大会 陸上競技 金メダル
平 1 2	高橋 尚子（積水化学工業）	第27回シドニーオリンピック陸上競技女子マラソン 1位
平 1 6	室伏 広治（ミズノ株式会社）	第28回アテネオリンピック陸上競技男子ハンマー投 1位
	富田 洋之（セントラルスポーツ株式会社）	第28回アテネオリンピック体操競技男子団体 金メダル
	鹿島 丈博（セントラルスポーツ株式会社）	第28回アテネオリンピック体操競技男子団体 金メダル
	米田 功（徳洲会体操クラブ）	第28回アテネオリンピック体操競技男子団体 金メダル
	国枝 慎吾()	2004年パラリンピック競技大会 男子テニス 金メダル
	齋田 悟司()	2004年パラリンピック競技大会 男子テニス 金メダル
平 1 7	千葉ロッテマリーンズ	2005年日本プロ野球セ・パ交流戦、パシフィック・リーグ、日本シリーズ優勝 三冠獲得
平 2 0	峰 幸代（ルネサンステクノロジー）	第29回北京オリンピックソフトボール 金メダル
平 2 3	宮間あや（岡山湯郷ベル）	FIFA女子ワールドカップ2011ドイツ大会 金メダル
	丸山桂里奈（ジェフユナイテッド市原・千葉）	FIFA女子ワールドカップ2011ドイツ大会 金メダル
平 2 4	田中 康大	2012ロンドンオリンピック競技大会水泳男子100m平泳ぎ金メダル
平 2 5	長嶋 茂雄（読売巨人軍）	プロ野球界への貢献による国民栄誉賞受章

(3) 千葉県知事賞

広く県民の模範として功績の顕著であった個人又は団体を表彰している。
スポーツ分野での受賞者は、次のとおりである。

年 度	受 賞 者 (所属)	対 象 競 技 会 等
昭 6 3	佐藤 寿治 (日本大学4年)	第24回オリンピック競技大会 (ソウル) 体操競技団体 銅メダル
	菊地 総 (東芝)	第24回オリンピック競技大会 (ソウル) 野球競技デモンストレーション 銀メダル
	小川 博文 (フリスホテル)	第24回オリンピック競技大会 (ソウル) 野球競技デモンストレーション 銀メダル
	江崎 史子 (八千代松陰高校2年)	第24回オリンピック競技大会 (ソウル) (デモンストレーション女子柔道) 銀メダル
平 元	小島 和恵 (川崎製鐵(株)千葉製鉄所)	89パリ国際マラソン 金メダル
平 2	倉原 良一 (千葉市役所)	国体水泳競技19回連続出場 (うち18回入賞, 9回優勝)
	野口 智博 (セントラルスポーツ研究所)	第11回アジア競技大会 水泳競技(400m自・800mR 1位)
	関 一人 (千葉市立磯辺第一中学校)	第11回アジア競技大会 ヨット競技(ワグニスト級 1位)
平 2	目良 明裕 (自衛隊体育学校)	第11回アジア競技大会 ライフル射撃競技(エアライフル団体 1位)
	丸山 茂樹 (日本大学3年)	第11回アジア競技大会 ゴルフ競技 個人 1位, 団体 1位
平 4	徳永 耕治 (日本石油)	第25回オリンピック競技大会 (バルセロナ) 野球競技 銅メダル
	三輪 隆 (神戸製鋼)	第25回オリンピック競技大会 (バルセロナ) 野球競技 銅メダル
平 6	国分 利人 (ビートル・エグザース津田沼)	第12回アジア競技大会 空手競技組手80Kg級 1位
	宇佐見政勝 (東京電力)	第12回アジア競技大会 水泳競技400mR 1位
	長塚 京子 (同和鉱業)	第12回アジア競技大会 テニス競技女子ダブルス戦 1位
	松中 信彦 (新日鉄君津)	第12回アジア競技大会 野球競技 1位
	中村 哲也 (東海大学4年)	第12回アジア競技大会 陸上競技400mR 1位
平 8	松中 信彦 (新日鉄君津)	第26回オリンピック競技大会 (アトランタ) 野球競技 2位
平 9	鈴木 博美 (積水化学工業)	第6回世界陸上競技選手権大会女子マラソン 1位
平 1 0	高橋 尚子 (積水化学工業)	第13回アジア競技大会陸上競技女子マラソン 1位
	簡 優好 (富士通)	第13回アジア競技大会陸上競技 4×400mR 1位
	濱野 広輔 (セントラルスポーツ)	第13回アジア競技大会水泳競技400mR 1位
平 1 2	永田 克彦 (警視庁第6機動隊)	第27回オリンピック競技大会 (シドニー) レスリング・グレコローマン69Kg級 2位
平 1 3	室伏 広治 (ミズノ)	第8回世界陸上競技選手権大会ハンマー投げ 2位
平 1 4	林 忠義 (北総乗馬クラブ)	第14回アジア競技大会馬術競技障害飛越団体 1位
	寺地 貴弘 (ミズノ)	第14回アジア競技大会テニス競技男子団体 1位
	矢寄 雄大 (明治大学)	第14回アジア競技大会柔道競技90Kg級 1位
平 1 5	鹿島 丈博 (順天堂大学大学院)	第37回世界体操競技選手権大会 鉄棒, あん馬 1位
	富田 洋之 (順天堂大学大学院)	第37回世界体操競技選手権大会 個人総合 3位
	千葉 真子 (豊田自動織機)	第9回世界陸上競技選手権大会女子マラソン 3位
平 1 6	森田 智己 (日本大学)	第28回オリンピック競技大会 (アテネ) 水泳競技男子100m背泳ぎ 3位
	関 一人 (関東自動車工業(株))	第28回オリンピック競技大会 (アテネ) ヨット競技470級 3位
	小林 雅英 (千葉ロッテマリーンズ)	第28回オリンピック競技大会 (アテネ) 野球競技 3位
	清水 直行 (千葉ロッテマリーンズ)	第28回オリンピック競技大会 (アテネ) 野球競技 3位
	石井 広寿 (ヤクルトスワローズ)	第28回オリンピック競技大会 (アテネ) 野球競技 3位
	相川 亮二 (横浜ベイスターズ)	第28回オリンピック競技大会 (アテネ) 野球競技 3位
	小笠原道大 (北海道日本ハムファイターズ)	第28回オリンピック競技大会 (アテネ) 野球競技 3位
平 1 6	金子 誠 (北海道日本ハムファイターズ)	第28回オリンピック競技大会 (アテネ) 野球競技 3位

年 度	受 賞 者 (所属)	対 象 競 技 会 等
平 1 8	澤野 大地 (ニシ・スポーツ)	第15回アジア競技大会陸上競技男子棒高跳 1 位
	鈴木 貴士 (セコム)	第15回アジア競技大会ラグビーフットボール競技 1 位
平 2 0	坂本 功貴 (順天堂大学)	第29回オリンピック競技大会 (北京) 体操団体 2 位
	高平 慎士 (富士通)	第29回オリンピック競技大会 (北京) 陸上4×100mリレー 3 位
平 2 1	福見 友子 (了徳寺学園)	2009世界柔道選手権大会 女子 4 8 kg級 優勝
	鷹見由紀子 (清和大学職員)	第14回世界剣道選手権大会 女子個人戦 優勝
平 2 2	秋本 啓之 (了徳寺学園)	IJF グランドスラム リオデジャネイロ 優勝 世界選手権 優勝
	西田 優香 (了徳寺学園)	IJF グランドスラム モスクワ 優勝 世界選手権 優勝
	伊東 良 (日本体育大学大学院)	第 1 7 回 世界相撲選手権 中量級 優勝
	小野 卓志 (了徳寺学園)	第 1 6 回 アジア競技大会男子 9 0 kg級 優勝
	細田 雄一 (稲毛インターナショナル)	第 1 6 回 アジア競技大会 トライアスロン男子 優勝
	藤井 拓郎 (KONAMI)	第 1 6 回 アジア競技大会 競泳男子400mメドレーリレー 優勝
	原田 欄丸 (自衛隊体育学校)	第 1 6 回 アジア競技大会 競泳男子400mメドレーリレー 優勝
	宮間 あや (岡山湯郷Belle)	第 1 6 回 アジア競技大会 女子サッカー 優勝
	比嘉 祐介 (流通経済大学)	第 1 6 回 アジア競技大会 男子サッカー 優勝
	山崎 亮平 (ジュビロ磐田)	第 1 6 回 アジア競技大会 男子サッカー 優勝
	工藤 壮人 (柏レイソル)	第 1 6 回 アジア競技大会 男子サッカー 優勝
	上場 雄也 (F C 東京)	第 1 6 回 アジア競技大会 男子バレーボール 優勝
平 2 3	佐藤 愛子 (了徳寺学園)	2 0 1 1 世界柔道選手権 5 7 kg級 金メダル
平 2 4	加藤 凌平 (順天堂大学)	第30回オリンピック 体操競技男子団体 銀メダル
	田中 佑典 (コナミスポーツ)	第30回オリンピック 体操競技男子団体 銀メダル
	平岡 拓晃 (了徳寺学園職員)	第30回オリンピック 柔道男子60Kg級 銀メダル
	藤井 拓郎 (コナミスポーツ)	第30回オリンピック 競泳男子400mメドレーリレー 銀メダル
	三宅 諒 (慶応大学)	第30回オリンピック フェンシング 男子フルール団体 銀メダル
	峰 幸代 (ルネサスエレクトロニクス高崎)	第13回世界女子ソフトボール選手権大会 金メダル
	大久保美紗 (ルネサスエレクトロニクス高崎)	第13回世界女子ソフトボール選手権大会 金メダル
	関 友希央 (ルネサスエレクトロニクス高崎)	第13回世界女子ソフトボール選手権大会 金メダル
平 2 6	市口 侑果 (ルネサスエレクトロニクス高崎)	第14回世界女子ソフトボール選手権大会 金メダル
	ベイカー 茉秋 (東海大学)	2014世界柔道選手権大会 男子団体 優勝
	齊藤 優佑 (徳洲会)	第 1 7 回アジア競技大会 体操競技 男子団体総合 優勝
	上田 藍 (シャクレー・グリーンタワーズ・稲毛インター)	第 1 7 回アジア競技大会 トライアスロン 女子個人優勝・混合リレー優勝
	佐藤 優香 (トシバ・ポートナズ・チームケンズ)	第 1 7 回アジア競技大会 トライアスロン 混合リレー 優勝
	萩澤 正太 (クボタスピアーズ)	第 1 7 回アジア競技大会 ラグビー 男子 7 人制 優勝

※千葉県知事特別賞

平成12年度 小出 義雄 (積水化学工業)
 <オリンピック女子マラソン大会 3 連続メダル獲得等の指導実績>
 平成14年度 明神 智和 (柏レイソル)
 <2002FIFAワールドカップ大会初の決勝トーナメント進出に貢献>
 平成16年度 加納 實 (順天堂大学)
 <オリンピックアテネ大会男子体操競技監督として団体優勝に貢献>

荒井 のり子
 <パラリンピック競技大会3大会連続メダル獲得の功績>

平成17年度 Robert John Valentine (千葉ロッテマリーンズ)
 <千葉ロッテマリーンズ監督として2005年日本プロ野球三冠獲得の指導実績>

平成20年度 国枝 慎吾
 <パラリンピック競技大会2大会連続メダル獲得の功績>

齋田 悟司
 <パラリンピック競技大会2大会連続メダル獲得の功績>

平成22年度 阿部 勇樹 (浦和レッドダイヤモンズ)
 <2010 F I F Aワールドカップ南アフリカ大会での活躍>

玉田 圭司 (名古屋グランパスエイト)
 <2010 F I F Aワールドカップ南アフリカ大会での活躍>

田中マルクス闘莉王ユウジムルザニ (名古屋グランパスエイト)
 <2010 F I F Aワールドカップ南アフリカ大会での活躍>

平成24年度 宮間 あや (岡山湯郷ベル)
 <第30回オリンピック競技大会女子サッカー 銀メダル>

室伏 広治 (ミズノ株式会社)
 <第30回オリンピック競技大会男子ハンマー投げ 銅メダル>

国枝 慎吾 (ユニクロ所属)
 <ロンドン2012パラリンピック競技大会車いすテニス男子シングルス金メダル>

(4) 文化の日表彰

県では管内各地で功績のあった人を文化の日に表彰している。過去の教育功労，体育・スポーツ分野での受賞者は，次のとおりである。

年 度	氏 名 (所属)
昭和 6 3 年度	仲 野 昭 造 (佐原市体育協会理事)
	佐久間 重 (君津木更津支部剣道連盟会長)
平成 元 年度	近 藤 正 三 (県レクリエーション協会副会長)
	橋 本 甲四郎 (県スケート連盟会長)
平成 4 年度	重 村 旦 (千葉市卓球協会会長)
平成 6 年度	石 原 輝 雄 (県スケート連盟副会長)
平成 8 年度	葛 城 隆 蔵 (元クレール射撃協会会長)
平成 9 年度	野 村 和 (千葉陸上競技協会副会長)
平成 1 0 年度	佐 川 幸 男 (県体育協会常務理事)
平成 1 2 年度	高 橋 重 夫 (県バドミントン協会会長)
平成 1 3 年度	羽 計 致 昭 (千葉陸上競技協会理事)
平成 1 4 年度	高見澤 裕 (県テニス協会会長)
平成 1 5 年度	霜 禮次郎 (千葉県ライフル射撃協会)
平成 1 6 年度	岡 田 脩 (県ソフトテニス連盟名誉会長)
平成 1 8 年度	松 井 勝 (県スケート連盟理事長)
平成 1 9 年度	宮 下 弘 子 (千葉県体操協会副会長)
平成 2 2 年度	中 谷 勝 (千葉県バレーボール協会会長)
平成 2 5 年度	梶 原 義 實 (千葉県体操協会会長)

(5) 体育功労者

スポーツ基本法第20条及び教育長顕彰規程に基づき、スポーツ振興に寄与することを目的として、スポーツ振興に功績のあった者を顕彰している。昭和37年度から地方体育振興功労者・優秀スポーツ選手（個人・団体）、さらに、同51年度から社会体育優良団体（スポーツクラブ・スポーツクラブ以外の団体）を顕彰している。

ア 地方体育振興功労者

管 内	NO	氏 名	現 役 職
葛南	1	宇賀 博	船橋市フェンシング協会副会長 千葉県フェンシング協会理事
	2	鎌形 勇	市川市空手道連盟会長 千葉県空手道連盟会長
	3	柴田 史香	習志野市陸上競技協会会長 習志野市体育協会会計
東葛飾	4	安田 富士雄	野田市アマチュアゴルフ協会役員 野田市体育協会会計
	5	佐野 直之	NP0法人我孫子市体育協会顧問 我孫子市陸上競技協会会長
北総	6	三橋 啓一郎	成田市体育協会監事 成田剣道連盟顧問
	7	高石 惣一郎	佐倉市体育協会副会長 印旛郡市体育協会常任理事
	8	板橋 睦	印西市体育協会副会長 印旛郡市体育協会常任理事
東上総	9	秋葉 精一	山武郡市体育協会副会長 横芝光町体育協会会長
南房総	10	平野 正明	富津市野球協会会長 富津市体育協会副会長
	11	大川 京子	市原市ソフトテニス協会副会長 千葉県ソフトテニス連盟副会長
	12	三浦 英喜	館山市体育協会会長 館山市スポーツ推進審議会委員
県体協	13	河村 一夫	千葉県ホッケー協会副会長 (公財) 千葉県体育協会評議員
	14	関口 薫	千葉県山岳連盟会長 (公財) 千葉県体育協会評議員
千葉市	15	福井 智子	千葉市レクリエーション協会理事長 千葉県スポーツ・レクリエーション祭実行委員長
県レク	16	大木 潤子	千葉県シェパード・ネッサー協会理事 茂原市レクリエーション協会顧問・理事

イ 社会体育優良団体

管 内	NO	団 体 名	代 表 者	設 立 年	構 成
葛南	1	船橋市馬術協会	渋谷 信博	昭和37年	1団体 50人
	2	NP0法人習志野中央スポーツクラブ	堀川 勝明	平成17年	200人
東葛飾	3	柏市卓球連盟	紙谷 保男	昭和39年	70団体 2,000人
	4	日本ヘルスバレーボール連盟	木村 俊彦	平成11年	1団体 226人
北総	5	成田市バスケットボール協会	半澤 幹夫	昭和47年	19団体 279人
	6	栄町陸上専門部	阿部 克美	昭和33年	1団体 25人
東上総	7	大多喜町少年柔道クラブ	杉村 康彦	平成13年	38人
南房総	8	鴨川市弓道会	杉浦 裕之	昭和38年	34人
	9	小糸レインボークラブ	稲田 久武	平成20年	210人
県体協	10	千葉県テニス協会	小野 敏郎	昭和22年	315団体 9,985人
県レク	11	習志野市レクリエーション協会	得居 不二三	昭和55年	2団体 72人

ウ 優秀スポーツ選手（個人、団体） 全国大会で1位もしくは国際大会に出場した功績
過去5年間の受賞者数

年度	優秀スポーツ選手		特別功労賞（5年連続受賞）
	個人	団体	
2 1	1 1 7	1 2	井桁孝浩、井上 肇
2 2	1 3 1	3 5	田野中輔、佐藤愛子、上田 藍 土井宏昭（10回受賞）、林忠義（10回受賞）
2 3	1 0 1	1 6	梨本真輝、山下明範、林田太郎 渡辺数馬（10回受賞）
2 4	9 3	1 1	森岡紘一郎、伊藤華英、向谷美咲、西田優香 平岡拓晃、福見友子
2 5	9 4	2 0	大利久美、樋口恵夢
2 6	1 1 9	1 9	上田 藍（10回受賞）、藤井拓郎